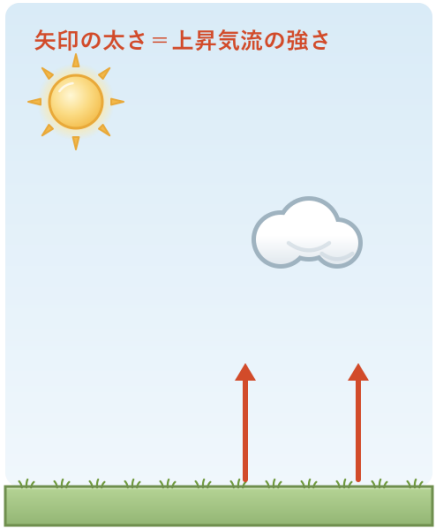
夏の夕方に雷雨が起こりやすいわけ

晴れた夏の日の夕方に、急に強い雨や雷が起こりやすいのはなぜだろう

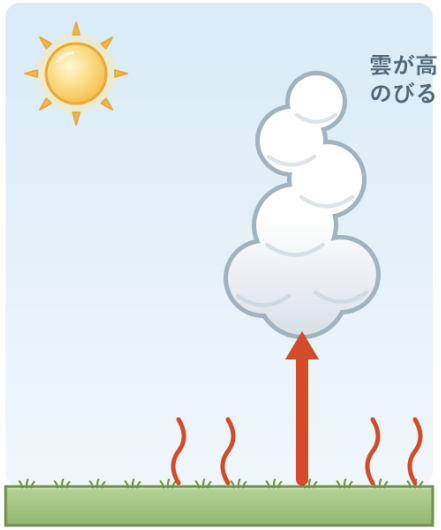
1 朝



地面が温まり始める

晴れて、強い日ざしが
地面を温め始める。

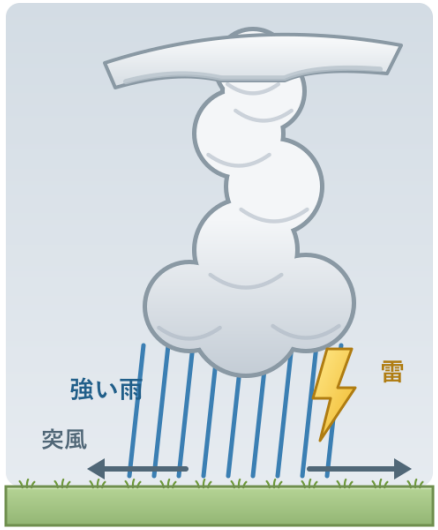
2 昼すぎ



地面が最も熱くなる

地面付近の空気が温められ、
強い上昇気流になって、
雲が高く発達する。

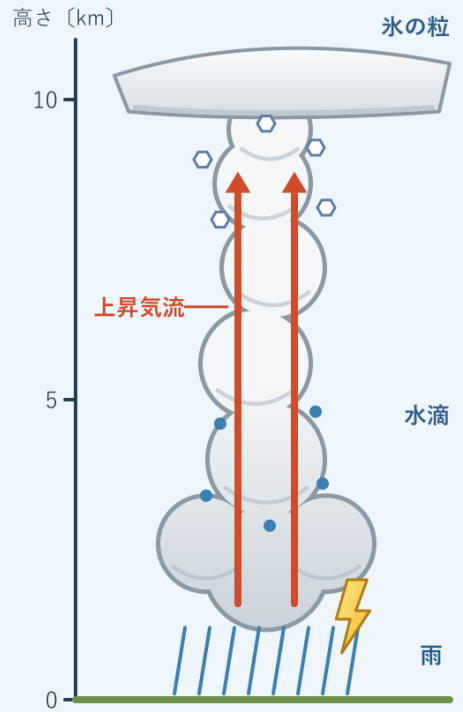
3 夕方



積乱雲が最も発達する

積乱雲になり、強い雨・
雷・突風が起こる。

積乱雲の断面（模式）



流れのまとめ（空気が上がって冷え、雲が高く発達するまでに時間がかかる）

強い日ざし → 地面が熱くなる → 強い上昇気流 → 積乱雲が発達 → 夕方に雷雨

雷は静電気の放電の一種。雲の中の粒がぶつかり合って電気がたまると考えられている。

安全

雷の音が聞こえたら、すぐに丈夫な建物や自動車の中に入る。高い木の下や広い場所は危ない。

※ 模式図。雲の形・高さ、時刻は典型的な例で、毎回同じではない。積乱雲の高さは 10 km をこえることもある。